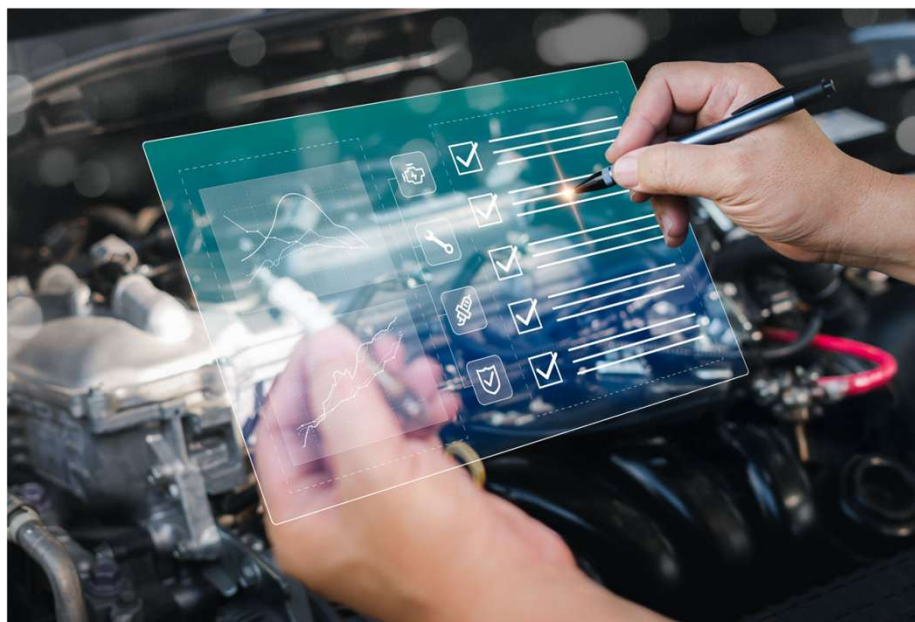


デジタルセキュリティシステムに、アナログブロックをプラス実装

配線上での物理的な信号遮断が可能になり、IGLAのデジタル防衛力はより隙のない状態まで高まる

絶対に盗ませない—IGLA端末・TOR端末両方を探し出して取外すのは、限られた時間ではほぼ不可能



こんな方からご購入いただいております。

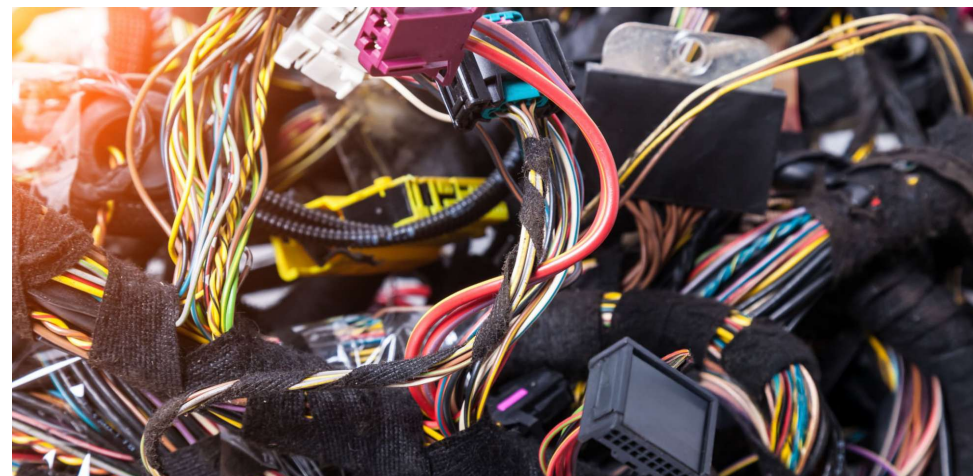
デジタルだけでなく、アナログ面でも
ブロッキングすることでより安心したい。

絶対盗まれたくない愛車に、
特別に導入しておきたい。

物理的解除は困難を極める

TOR搭載車を窃盗するには、IGLA・TORを2つとも物理的に取り外す必要があります。しかしいずれも人差し指サイズ（約4.2cm×2cm）。特別な目印ではなく、車内の大量の他配線・他端末の中に紛れ込んでいます。

当然、他配線・他端末を誤って切断すればエンジン始動などに支障が生じます。つまり**IGLA・TORを見分けてそのみを精確に切断**し、配線をつなぎ直さねば窃盗は不可能です。



窃盗失敗リスクが格段に高くなる

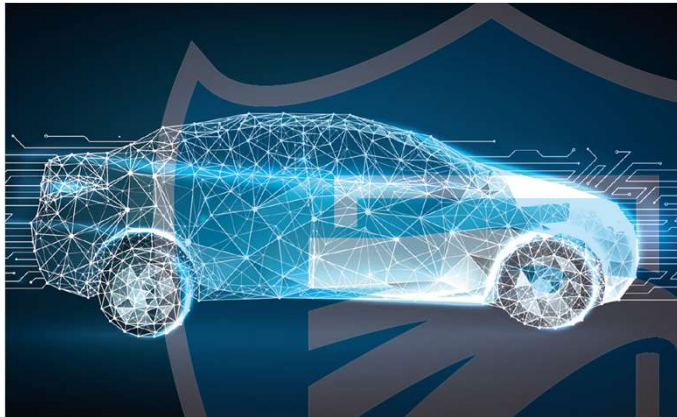
万が一どちらかを発見・切除できたとしても、車両全体のどこかに隠された**もう1つの端末も切除しない限り車は動きません。**

IGLAだけでも発見・切除は困難ですが、防御端末が2つになることで窃盗に要する時間は飛躍的に長くなります。**この時間が長ければ長いほど、窃盗犯にとって発覚・失敗リスクは大きく膨れ上がります。**

これにより窃盗のモチベーションを折り、目的達成を早々に諦めさせます。



車両デジタル通信CAN-BUS(キャンバス)と3大窃盗手口とは？



現代のハイクラス車の内部では、いくつもの電子ユニットが精密に複合し1つのデジタル通信システム“**CAN-BUS**”を構築しています。エンジン始動から窓の開閉まで、あらゆる挙動はこのCAN-BUSを通じてコントロールされます。

窃盗犯は何らかの方法でこの**CANシステム**にアクセスし、エンジンを始動させて車を盗みます。

IGLA+TOR:車内に侵入されても複合的にエンジン始動を不可能に(エンジンを停止)する。

KLB:キーレスロック後にスマートキーの電波を受信しなくなる。

CANインベダー

車外からCAN-BUSに無理やり配線をつなぎ、システムに侵入。**直接CANシステムを操作して**ドアを解錠、エンジンを始動させる。

リレーアタック

オーナーの**スマートキーから発せられている微弱電波からロック解除コード**を手。それを用いてドアを解錠、エンジンを始動させる。

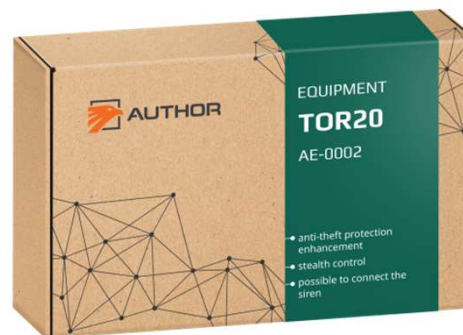
ゲームボーイ

車から発せられるロック解除用の信号を受信する。それを解析し、ロック解除コードを作成。それを用いてドア解錠・エンジン始動。

表内価格:いずれも工賃別

“IGLA+TOR”で、ほぼ限界までエンジンセキュリティ性能は向上。

直接的な防衛手段に加えて、別の防衛要素も求めるオーナー様は下記を導入しています。



参考価格

TOR

35,475円

※IGLA2またはIGLA alarmのオプションです。単品購入はできません。

TORユーザーに人気のカスタム

IGLA alarm

アラーム付きのIGLAがほしい。
完全鉄壁を極限まで追求したい。



キー FOB 2個付 オープン価格

工賃込 参考価格 198,000円

※まずIGLA2かIGLA alarmのどちらかを選択していただき、次にTOR導入をご検討していただきます。

Keyless Block PRO

そもそも車内に入られたくない。
リレーアタック・ゲームボーイも防ぎたい。

参考価格



KLB PRO 54,450円

KLB PRO+
(キー FOB 2個付) 63,250円

KLB単品の取付も人気です。